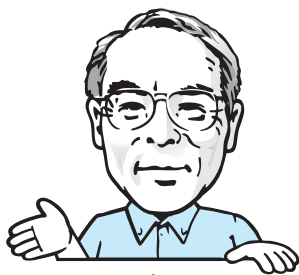


「新七尾の歌」を

お酒が入ると歌が出てくる。カラオケである。気持ちを込めて熱唱する人の歌を聴いていると自分も一緒に歌いたくなる。でも、カラオケを曲にあわせて歌っても、どうも気持がひとつにならない。「キカイ」は歌手のベースに合わせてくれない、合わせられない自分が情けなくなり一層自信を無くす。

七尾の祝い歌「七尾まだら」を歌うときは、自分なりに手拍子を含ませ、声を合わせて歌っていると、まわりの歌声と自分の声が一体となって、みんなとともに気持をひとつにして歌ったという充実感を覚える。



七尾市長
武元文平

民謡や仕事唄は、庶民の生活や労働に根ざした人間の喜びや悲しみをうたったものが多い。生活の節々にうたわれ、引き継がれてきた歌は、人と人のところを通過させ、苦楽をともにする仲間の一員としての自覚を高め絆を強めてきた。

「七尾まだら」を歌うことで、お互いに七尾人の意識を強め、七尾に生まれ育ったことの喜びと誇りを覚える。「七尾まだら」は素晴らしい七尾の「うた」である。

でも、やはり現代の「七尾の歌」にはならない。カラオケの時代である。老いも若きも、男も女も一緒に手をたたき声を張り上げて、ともに腕を組んで歌える歌、七尾を全国に発信する「新七尾の歌」が欲しい。

「当地ソングとして「能登の海鳥」がある。かなり古くて知名度が低い。やはり新七尾市の自然や祭り、文化と能登人のやさしさ、人情などを歌にして、新七尾市のすばらしさを高らかに歌い上げる歌をぜひ作りたいものである。七尾市民が心をあわせ、歌って踊れる「現代版七尾まだら」を。新七尾市の誕生記念に・・・。

市長へのメール「前略市長さん」(<http://www.city.nanao.lg.jp/shicho/index.html>)では、市民のみなさんからのご提言、ご質問などをお待ちしています。

市長談話室

開催日程

8月9日(火) 15:00～17:00

会場 本庁 男女参画まちづくり課
公務により、中止になる場合があります。

お申し込み・お問い合わせは

男女参画まちづくり課 ☎53 1112

みなさんの提言やアイデアを聞かせてください!

子どもからお年寄りまで、どなたでも談話できます。お気軽に、市政に対する提言やアイデアをお聞かせください。
お申し込みは1週間前までに
お願いいたします。

「市長への声」

読ませていただいております。

【お寄せいただいた「声」】

回答

体育館設備の充実を！
体育館を使用したスポーツ行事が増えてきています。

しかし、会議室等の設備のない体育館では、大きな大会や試合があるとトレーニングルームを審判の控え室に代用している状態です。また、バリアフリー化されていない体育館も見受けられます。

今後のスポーツの活性化に、子どもからお年寄りまで安心して使える充実した設備の体育館に改築をお願いします。
(男性から)

市内の体育館は、能登島生涯学習センター(体育館)を除き、老朽化が進んでおり、順次改修等をしながら利用している現状です。ご指摘の部分についても改修というかたちで検討させていただきます。
また、市内にはたくさん体育施設がありますので、既存の施設を最大限有効活用していただきますようお願い申し上げます。

☎男女参画まちづくり課
53 1112